



RealCare Baby® 3 Quick Start Guide

世界で最もリアルで技術的に進んだ育児シミュレーターです。プログラムを始めるためには、最低でもRealCare BabyとControl Ceter Software、X-Stickが必要となります。

このガイドの手順を参考にプログラムの準備を行ってください。

商品構成

1. 布おむつ（黄）と上下アウターフィットを着たリアルケアベビー
2. パジャマ、半袖ロンパース、布おむつ（緑）
3. 哺乳瓶、模擬授乳用デバイス
4. 親子を識別する学生ID 1 個とID用リストバンド 5 個
5. 充電アダプター ※スターターパックのみ
6. XStick® （Wireless Communication Adapter） ※スターターパックのみ



※全ての衣類にセンサーが搭載されているため、Babyはどの衣類をどのくらいの期間着用しているかを把握することができます。（注）商品、構成品の外観、仕様は予告なく変更される場合があります。

RealCare®コントロールセンターソフトウェア、参加者用ビデオやカリキュラムは以下より入手いただけます。

www.realityworks.com/realcaredownloads

リアルケアベビー3 設定方法

【ソフトのインストールとベビーの登録】

1. ベビー本体を、アダプターで充電します。

アダプターをコンセントに挿してから、ベビーの背中にある挿し込み口に繋がします。差し込み口の上にある、真ん中の緑のライトが光っている間は充電中です（およそ 6 時間）。緑のライトが消え、一番上の赤いライトが点灯したら充電完了です。アダプターは、必ず**ベビー本体→コンセント**の順で外してください。逆に行くと、ソフトがベビーの状態を正しく認識できなくなる場合があります。

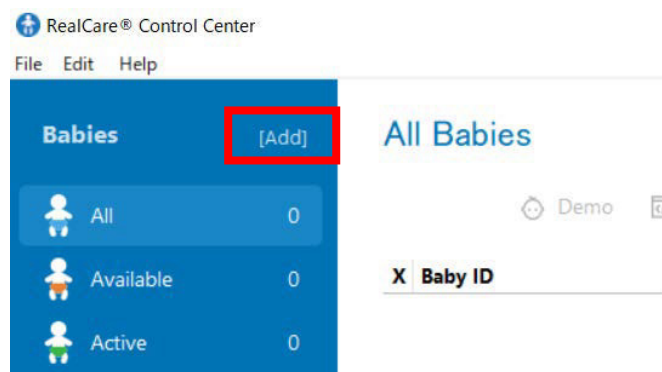
2. お手持ちのコンピュータに、リアルケアベビー3用ソフト「コントロールセンター」をインストールします。

X-Stick やキーが収納されたスターターキットボックス内面記載の URL から「RealCare Control Center Software」をダウンロード/インストールしてください。メッセージウィンドウは指示に従い、OK をクリックして進んでください。

3. 付属のX-Stick (USB) を、コントロールセンターをインストールしたコンピュータに挿し込みます。

4. コントロールセンター (Baby Control Center) を起動し、ベビーを登録します。

- ① 画面左側・**Babies** の右側にある[Add]をクリックします。



- ② コンピュータの近くで、ベビーの背中にある小さなボタン（3つのライトの上）を、クリップの先などで長押しし、チャイム音が2回鳴ったら離します。



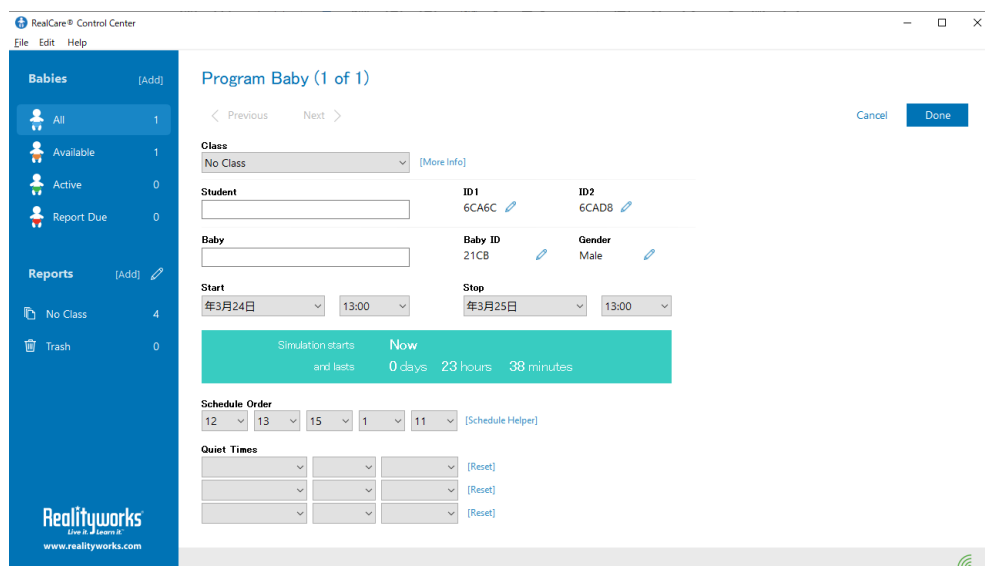
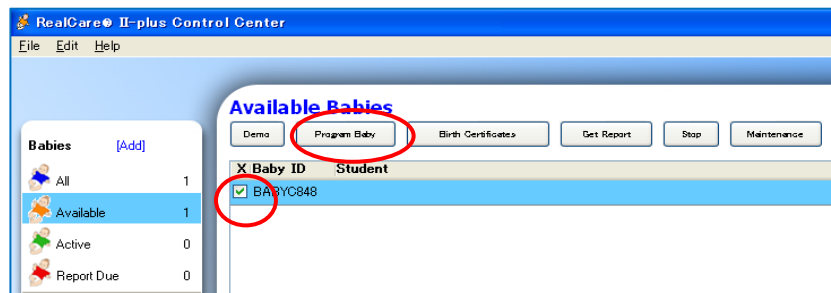
- ③ 画面右側・**All Babies** の下に、ベビーのリストバンドと同じIDが表示されます。表示されない場合は、②をもう一度行ってください。
- ④ 表示されたIDの行の一番右・**Status** 欄に「Added」と表示されたら完了です。画面左側のAll/ブルーのベビーをクリックし、トップ画面に戻ってください。

【育児体験を開始する】

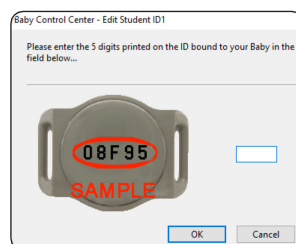
1. コンピュータに XStick を挿入して、コントロールセンターを起動した状態にして、使用するベビーを近くに用意します。

2. ベビーの情報を登録します。

- ① トップ画面を表示 (ALL/ブルーのベビーをクリック) します。登録したベビーの ID の横にチェックを入れて、上部の **Program Baby** ボタン (左から2 番目) をクリックします。



- ② 認識させる ID を登録します。ID1、ID2 の右側にある **[Edit]** をクリックすると、ID の入力画面が表示されるので、説明の図と同じ場所に記載された ID 番号をそれぞれ登録してください。



- ③ ベビーの性別を登録します。Gender の右側にある **[Edit]** をクリックすると選択画面が表示されるので、Male (男の子) / Female (女の子) を選択してください。

3. 育児体験の内容・時間を設定します。

No Class 0
Trash 0

Start 年9月5日 16:00 Stop 年9月6日 16:00

Simulation starts and lasts Now 0 days 23 hours 11 minutes

Schedule Order 9 11 12 13 15 [Schedule Helper]

Quiet Times

Date	Time	Duration	Reset
年9月5日	9:00	2 hours	[Reset]
			[Reset]
			[Reset]

0 hours total quiet time between Start and Stop

Realityworks Live it. • Learn it.

- ① 体験開始時刻を設定します。**Start** の下の日時をプルダウンで選択してください。
- ② 体験終了時刻を設定します。**Stop** の下の日時をプルダウンで選択してください。
- ③ 体験内容のレベルを設定します。**Schedule Order** の右側にある **[Schedule Helper]** をクリックすると、選択画面が表示されるので、Easy mix (初級) / Medium Mix (中級) / Hard mix (上級) から選択してください。体験期間が2日以上あり、1日ごとに違うレベルに設定したい場合はRandomを選択してください。

※1～15の各数字で、体験内容が決まっています。

初級：9, 11, 12, 13, 15 / 中級：2, 3, 7, 10, 14 / 上級：1, 4, 5, 6, 8

※体験時間を1週間で設定した場合、6日目・7日目は1日目・2日目のレベル・内容が繰り返されます。

※1日の中で複数のレベルを体験することはできません。

- ④ ベビーが立たない時間を設定できます。設定する場合は、**Quiet Time** の下のプルダウンから、設定したい時間を選択してください。

※設定した時間の間も体験は続いています。ベビーを落としたり、首を支えずに抱いたりすると激しく泣くので注意してください。

- ⑤ 上部の **Done** ボタン (1番右) をクリックし、**Program Baby – Summary** 画面に移動します。

4. 設定した内容を、ベビーに送信します。

- ① **Program Baby – Summary** 画面上部の **Send to Baby(s)** ボタン (右側) をクリックして、設定した内容をベビーに送信します。
- ② チャイム音が鳴ったら送信完了です。左側の Available (オレンジのベビー) に表示された数字が減り、Active (緑色のベビー) が増えていることを確認します。これらの変化が無い場合は、使用するベビーが近くにあることを確認した上で、もう一度①を行ってください。

5. 育児体験を開始します。

設定時刻になると、自動的にプログラムが開始します。ベビーを育児体験者に預けます。コントロールセンターも閉じて構いません。

6. 育児体験を終了します。

設定時刻になると、自動的にプログラムが終了します。時間通りに終了する場合、特にコントロールセンターでの操作は必要ありません。

※設定していなかった時刻よりも早く終了させる場合は、コンピュータにXStickを挿入し、ベビーを近くに置きます。コントロールセンターを起動したら、上部の **Stop** ボタン（右から3番目）をクリックして、チャイム音が鳴ったら体験終了になります。鳴らない場合は、もう一度クリックしてください。

5. 体験終了後、ベビーに記録された育児レポートを取り込みます。

- ① コンピュータにXStickを挿し、コントロールセンターを起動します。ベビーも近くに置きます。
- ② トップ画面で、使用したベビーのIDにチェックを入れます。
- ③ 上部の **Get Report** ボタン（中央）をクリックします。
- ④ 一番右の **Status** が「Report OK」となったら、取り込み完了です。（Get reportの間は取り込んでいます）

6. 取り込んだ育児レポートを確認します。

- ① 左側の **Reports** の下で、レポートの入ったフォルダ名をクリックします。

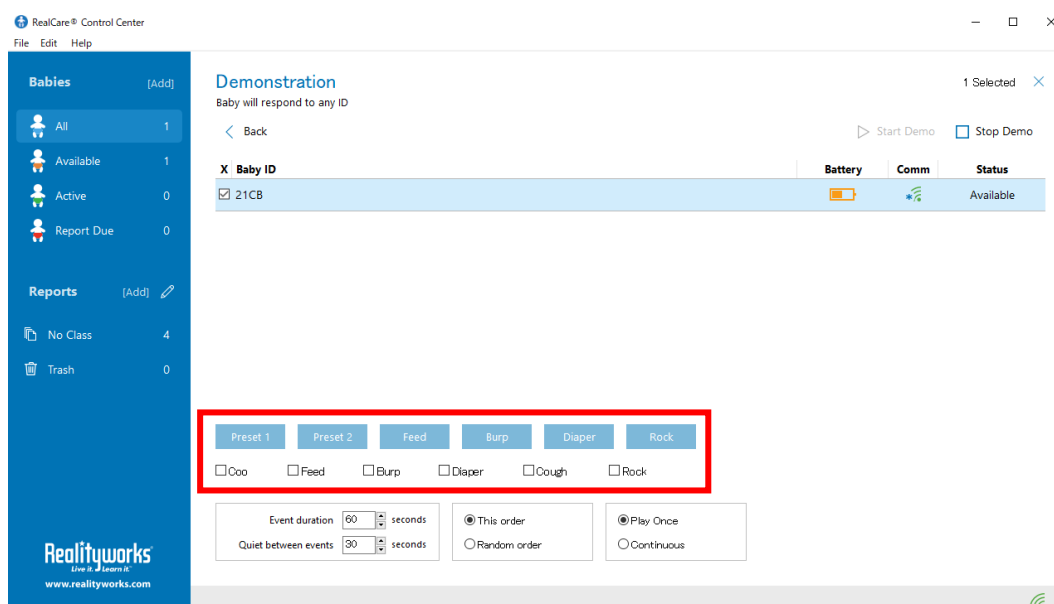
※初期設定ではフォルダがないので、自動的に「No Class」に取り込まれます。

- ② 確認したいレポートを、体験時間や体験者・ベビーの名前で確認し、チェックを入れます。
- ③ 上部の **View** ボタン（中央）をクリックすると、選択したレポートが表示されます。印刷する場合は、上部の **Print** ボタン（右から2番目）をクリックし、さらに次の画面の **Print** ボタンをクリックしてください。
- ④ 表示されたレポートをPDF等で保存する場合は、**View** ボタンをクリック後、ツールバーのファイルからExport→Copy to Clipboardをクリックしてコピーし、ペイント、Word等に貼り付け、名前をつけて保存してください。

【デモを行う場合】

育児体験をする人のために、実際の体験開始前にベビーの世話方法をデモンストレーションすることができます。実際の体験と異なり、記録は残りません。

1. 画面左側の All (ブルーのベビー) をクリックしてトップ画面を開き (左側の All をクリック)、使用するベビーの ID の横にチェックを入れます。
2. 上部左の **Demo** ボタンをクリックします。
3. デモを行う内容にチェックを入れます。



Coo	：★ボイスサンプル 嬉しそうな泣き声 (嬉しそうに出来たとき)
Feed	：ミルク/哺乳瓶を口に当てると、ミルクを飲む音がします。Coo の声かするまで続きます。
Burp	：げっぷ/ベビーの背中をトントンとたたき続けると、しばらくして小さくげっぷ音がします。
Diaper	：おむつ交換/もう1枚の付属のおむつと交換すると、Coo の声かします。
Cough	：★ボイスサンプル 咳 (うつぶせなど、ベビーを苦しい姿勢にさせたとき)
Rock	：ゆっくりあやす/ベビーを抱いたままゆっくり揺すったり、お尻をポンポンと軽くたたいたりしていると、Coo の声かします。

※なお、下部のボタン6つのいずれかをクリックすると、自動的に該当する内容にチェックが入ります。

Preset1	：上記6つの全てを行います。
Preset2	：上記6つのうち、★ボイスサンプルを除いた4つを行います。

4. デモの時間等を設定します。

Event Duration : ベビーが ID を認識してから、デモ内容が終わるまでの時間を 10～255 秒の間で設定します。おむつ交換などは、交換したら完了となるので何秒に設定していても変わりません。

Quiet between events : 複数の内容を連続で行う設定の際、各デモの間隔を 10～255 秒で設定します。内容を 1 回ずつ設定・送信する際は、特に操作しなくて構いません。

This/Random order : 複数の内容を連続で行うように設定した際の、各デモの順番を「左から」もしくは「ランダム」に設定します。内容を1回ずつ設定・送信する際は、特に操作しなくて構いません。

Play Once/Continuous : デモ内容を行うか、止めるまで繰り返し行うかを選択できます。

5. ベビーをコンピュータの近くに置き、上部中央の **Start Demo** ボタンをクリックすると、内容がベビーに送信されます。チャイム音が鳴った後、デモが始まります。鳴らない場合は、再度**Start Demo** をクリックしてください。

6. 実際の育児体験と同じように、IDを認識させてから、各世話内容を行います。

※デモの場合は、ベビー本体にIDを登録（2 ページ 1.②参照）していなくても認識しますので、付属しているどのIDも使用できます。

7. 終了したら、上部右の **Stop Demo** ボタンをクリックします。

【その他】

★新しくフォルダを作るには？

左側 **Reports** の右側にある **[Add]** をクリックすると、フォルダ名の入力画面が表示されます。新しく作るフォルダの名前を入力し、**OK** をクリックします。（日本語での登録も可能です）

★設定した内容が、ベビーに送信されないときは？

数回試してもチャイム音がしない場合、以下の手順で確認してください。

- ・ ベビーをコンピュータの近くに置いていますか？コンピュータとベビーの距離が 15m 以内であれば送受信は可能ですが、なるべく近くに置いて再度試してください。
- ・ 充電はされていますか？**Battery** の ● 表示がゼロ、もしくは ● 1つのみの場合、充電してから再度試してください。

これらをすべて確認しても原因がわからない場合は、コントロールセンターを開き直す、もしくは XStick を挿入し直してみてください。



医学教育機器事業部

〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-3-9 ツインビュー御茶の水 2F

☎ 03-3815-2354 📠 03-3818-6843 ✉ igaku@nlsinc.co.jp 🌐 www.medical-sim.jp

R04a.2507